

ベトナムにおける現地情報

2021年12月16日

ASIA GATE VIETNAM CO., LTD.

豊田英司

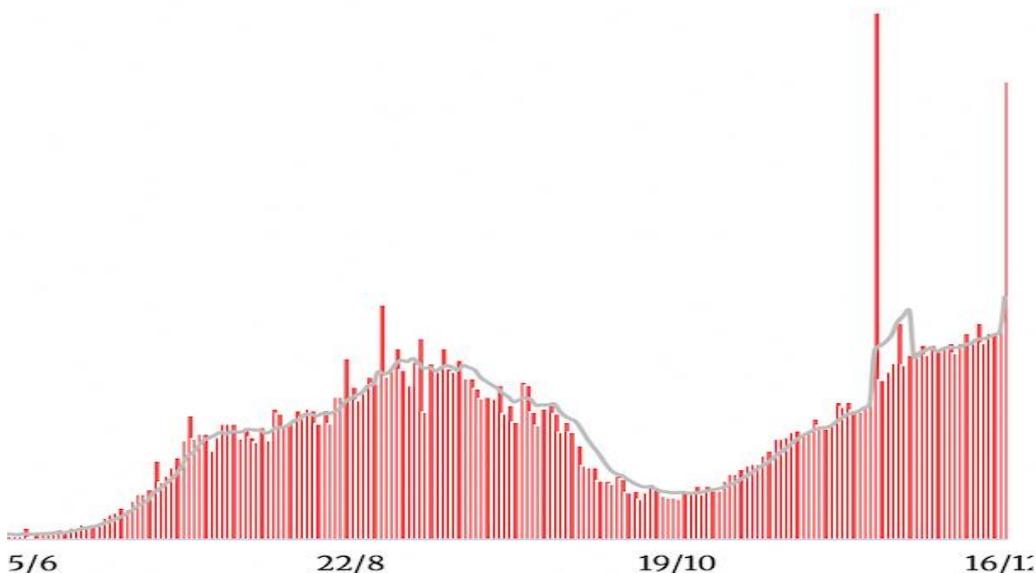
(コロナ感染・死亡者状況)

2021年12月16日現在

- ・感染者総数：1,486,875名（11月16日：1,039,433名/+447,442名）
- ・死者：28,857名（11月16日：23,270名/+5,587名）

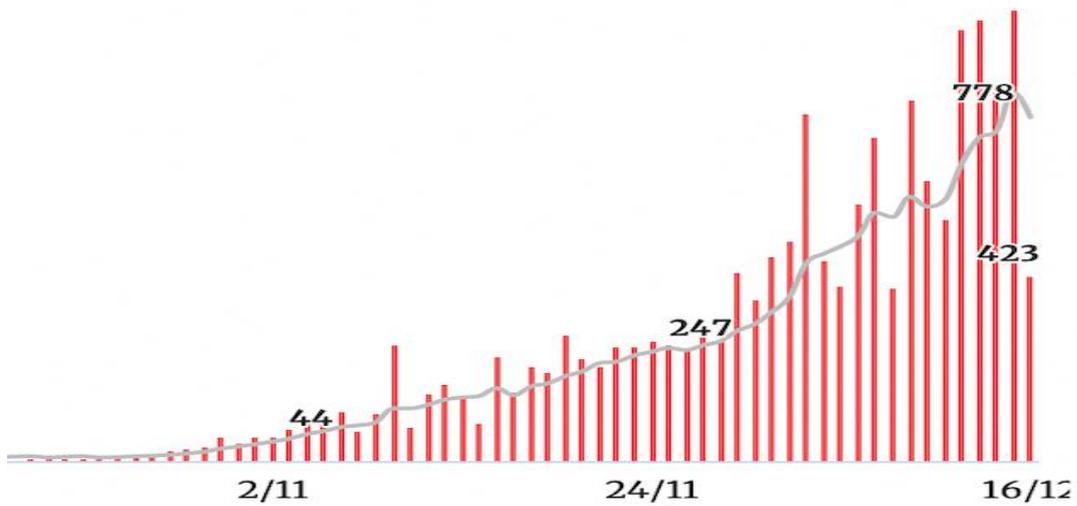
(全般)

先月、11月に入って新規感染者数が再び急上昇し、9月のピーク時に近い1日1万人前後の感染者数を記録し始めているとお伝えしましたが、その後も新規感染者は増加し続け一向に減る様子がありません。（[下図1](#)）



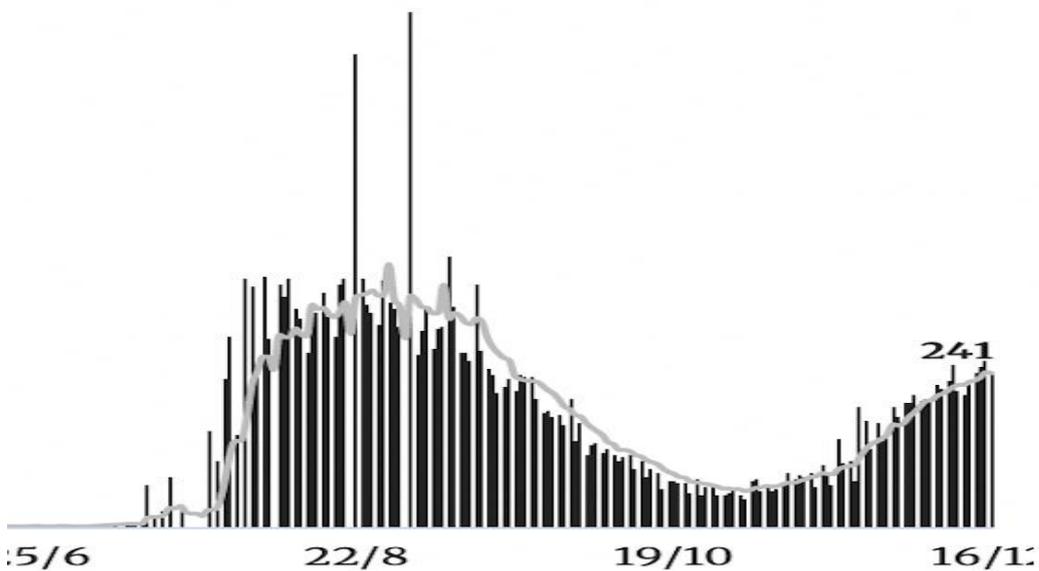
(図1：6月初旬～12月中旬のベトナム全土の1日あたりの新型コロナ新規感染者数の推移)

特にこの1ヶ月間の中で気になるのが、今まで新規感染者が少なかった首都ハノイで感染者が増加し、感染の中心地であったホーチミン市を新規感染者数で抜く日も出てきたことです。（[下図2](#)）



(図 2: 11月初旬～12月中旬のハノイの1日あたりの新型コロナ新規感染者数の推移)

但し、ベトナム全土での死亡者数については9月ピーク時の半分程度の人数（200人前後/日）で、新規感染者の急増ほどには増えていません。（下図 3）



(図 3: 6月下旬～12月中旬のベトナム全土の1日あたりのコロナによる死亡者の推移)

ただ、ベトナム政府の「ウィズコロナ」方針に基づく社会活動の従来化の方向性は変わっておらず、来年1月から主要な都市（東京便含む）とハノイ・ホーチミンとの定期航空便の再開予定も発表され、都市内、都市間の自由な移動や飲食店の運営なども

撤回されるような様子は今のところありません。ホーチミンでは一部の学年で「対面授業」も再開され、着実に規制の撤廃は進んでいます。

(経済)

今年の GDP 予想は昨年同様、2%台になりそうですが、すでに工場の操業や国内経済も復活の兆しを見せており、来年は6%程度の GDP 成長率が見込まれています。

(ワクチン接種の状況)

ワクチン接種は全国的にかなり進んでおり、ホーチミンでは3回目の接種も計画されています。

(12月16日時点でのベトナム全土での数字)

- ・一回以上のワクチン接種を行なった人数：79.1% (11月14日時点：65.67%)
- ・ワクチン接種が完了した人数：61.6% (11月14日時点：35.94%)

(出典：Vietnam Express：<https://vnexpress.net/covid-19/vaccine>)

(ベトナムと日本の往来の状況)

ベトナム政府は来年1月1日から主要な都市(含む東京)とハノイ・ホーチミンの定期国際商用便の運航再開を許可していますが、詳細のガイドラインについてはまだ確定していません。ベトナムへの渡航をご検討の方は各会社、もしくは旅行代理店へお問い合わせください。

(ベトナム入国時の隔離状況)

ベトナムへ到着してからの「集中隔離期間」について、ベトナム保健省が策定している「ベトナム入国に関するガイダンス案」では「在外ベトナム人」に関してはワクチンの2回接種などの条件付きで強制隔離をなくし、自宅での3日間の自主隔離のみにする案が出ています。残念ながら、この案には日本人を含む外国人に関することは触れていません。ただ、いよいよ「入国後の強制隔離なし」という文字が公式な場に出てきたのは大きな一歩かと思えます。

以上のように、全てはまだ案の段階ですので、現時点での入国条件は先月同様、「ワクチン接種を完了しているか」どうかで下記のように隔離必要期間が変わります。

(ワクチン接種未完了の者)

- ・集中隔離期間：14日間

- ・自宅・居住地での医療観察期間（自主隔離）：14日間
自主隔離期間も原則、外出は禁止。

（2回以上のワクチン接種を完了するなど一定条件を満たす者）

- ・集中隔離期間：7日間
- ・自宅・居住地での医療観察期間（自主隔離）：7日間

ベトナムへ入国される場合の手続きについてはいまだに不透明な部分も多いので旅行代理店などへしっかりとご確認の上、手続きください。

より詳しいベトナム渡航に関する情報をご希望の方は在ベトナム日本国大使館のウェブサイト内の下記ページを確認ください。

（ベトナムへの入国を希望する皆様へ）

（出典：https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20200731nyuukoku.html）

以上